

第七十三回帝國議會
衆議院

重要礦物増産法案外一件委員會會議錄(速記)第十回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
石油資源開發法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月七日(月曜日)午前十時三十分分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 福市君

理事寺島 權藏君 理事長野 長廣君

理事中田 儀直君

山田 清君

栗山 博君

山本 条吉君

山田 順策君

板谷 順助君

川崎巳之太郎君

松本 弘君

野中 徹也君

同日委員松永義雄君及瀧澤七郎君辭任ニ付

其ノ補闕トシテ川俣清音君及高島龜太郎君

ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事瀧澤七郎君ノ補闕トシテ高島龜太

郎君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

海軍參與官 岸田 正記君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工參與官 佐藤謙之輔君

燃料局長官 竹内 可吉君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

石油資源開發法案(政府提出)

○森田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマ

ス——板谷君

○板谷委員 我國ノ現狀ニ於キマシテ燃料

國策ノ必要デアルコトハ言フ迄モナイコト

デアリマス、私ハ寧ロ電力案ヨリハ此方ガ

國策トシテ至急ニヤラナケレバナラス間

題ト思フデアリマス、殊ニ石油事業ノ資

源開發ニ付キマシテハ、大體政府ノ今マデ

ノ力ノ入レ方ガ足リナカッタ、私ノ郷里ハ新

潟縣デ、自分ノ方面ニハ石油事業ガ盛デア

ル爲ニ、子供ノ時代カラ能ク承知シテ居ル

ノデアリマスルガ、御承知ノ通りモウ明治

以前カラ此石油ト云フコトニ付テハ、各方

面デ之ヲ掘リ出サレテ居ッタ所ガ今度資源

開發ト云フコトヲ、何ト言フカ、急ニ思ヒ

立ツノカ、泥繩式ニヤラレテ居ルコトニ

付テハ、私ハ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリ

マスガ、大體内外地ヲ通ジテ地質調査ト云

フカ、或ハ鑛區調査ト云フカ、サウ云フモ

ノガ十分出來テ居リマスカ、之ヲ承リマス

○竹内政府委員 地質調査ノ方モ相當古ク

カラ内外地ヲ通ジテヤッテ居ルノデアリマ

スガ、特ニ近年ニ於キマシテハ唯地表ノ觀

測ダケデナク、科學ノ進歩ニ依リマシテ、

物理的探鑛法ト云フヤウナモノヲモ應用致

シマシテ、最近ハ政府ニ於キマシテハ、此地

質ノ調査ト云フコトニハ非常ニ努力ヲ致シ

テ居リマス、特ニ十二年度カラハ此豫算モ

殖ヤシマシテ、十三年度ノ要求ノ中ニモ、既

定計畫ニ依リマス油田ノ地質ヲ精査スルト

云フ爲ニ、更ニ十二萬圓増加致シマシテ、

三十萬圓近クノ金ヲ用ヒマシテ、今後モ此

方面ニハ力ヲ盡シテ行キタイト考ヘテ居リ

マス

○板谷委員 ドウモ當局トシテハ洵ニ驚キ

入ツタ御答辯デアリマス、苟モ我國ノ現在ノ非

常時ト云フヨリハ、舊來カラ此資源開發ト

云フコトニ付テハ全力ヲ擧ゲナケレバナラ

ス、又此度政府ガ命令ヲ以テ試掘ヲサセル

ト云フヤウナ案ヲ立テラレテ居ル以上ハ、

相當ノ確信ガナケレバナラヌノデアアルカ

ラ、若シ今日マデ——將來ハ兎ニ角トシテ、

又勿論地下ニアル油脈デアリマスカラ、サ

ウ中々正確ニハ申上ゲル譯ニハ行カヌト

思フノデアリマスガ、大體ノ御調査ガ出來

テ居レバ、圖面ヲ以テ一ツ御示シテ願ヒタ

イ、更ニ伺ヒタイコトハ、今日マデ試掘ノ

獎勵ノ爲ニ二百五十萬圓ノ金ガ出テ居ルト

思フノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ成績

ハドンナ狀態ニナッテ居リマスカ、ソレヲ伺

ヒマス

○竹内政府委員 昭和二年度カラ大體只今

御話ノアリマシタヤウナ金額ヲ以テ助成ヲ

致シテ居リマシテ、井戸ノ數ニ致シマシテ

モ、昭和十二年度マデニ試掘井ニ對シマシ

テ補助ノ指令ヲ致シマシタノガ八十八本ア

リマス、此八十八本ノ中ニ豫定ノ深サヲ掘

リマシテ、即チ作業ヲ完了致シマシタノガ

七十アリマス、此成績ニ付テ申上ゲマスガ、

此中秋田縣ノ院內ノ油田ハ、是ハ直接ニ政

府ノ助成ヲシマシタ井戸ニ付イテ油田ヲ確

メタノデアリマス、ソレカラ同ジク秋田縣

ノ雄物川ノ油田デアリマスガ、是ハ政府デ

助成ヲ致シマシタ其井戸カラデハアリマセ

ヌケレドモ、此井戸ヲ試掘シマシタコトガ

動機ニナリマシテ、近來相當ナ出油ヲ見テ

居リマシテ、油田ガ開發サレタノデアリマ

ス、ソコデ從來ノ七十本ノ井戸ニ對シテ先

ヅニ箇所ヲ發見シ得タト云フ風ニ私共ハ見テ居ルノデアリマス、是ハ見方デアリマスガ、將來必ズ七十本ニ對シテ二本ノ割合デ、俗ナ言葉デ申上ゲレバ、當ルト申シマセウカ、サウ云フ風ニ推定スル譯ニモ行カヌデアリマスケレドモ、併ナガラ只今モ申上ゲマシヤウニ油田ノ地質ノ調査モ段々正確ヲ期シ得ルヤウニナッテ居リマス、又今日マデノ調査ノ結果ニ依リマシテ、此獎勵金ト今回提出致シテ居リマス法案ト、此兩方ガ相俟ッテ、比較的有望ダト認メラレル所ヲ積極的ニ試掘スルコトヲ得マシタナラバ、相當ノ效果ヲ擧ゲルコトガ出來ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス

○板谷委員 ドウモ只今ノ御答辯デハ、從來ノ政府ノヤリ方ト云フモノガ極メテ手續イ、コンナコトデハ中々資源ノ開發ハ私ハ出來ヌト思フ、只今モ申上ゲマスヤウニ、私ハ自分ノ郷里ガ石油地デアリマシテ、子供ノ時分ノコトヲ今デモ記憶ガアリマスガ、兎ニ角積極的ニ出來ルダケ掘ル、假ニ一本當ルト云フコトニナルト、非常ニソレガ動機トナッテ、到ル所ニ段々掘リ出スト云フヤウナ結果ニナッテ居ル、勿論一進一退ハアリマスケレドモ、現ニ長岡ノ東山方面ハ石油ガ出タガ爲ニ、非常ニ之ニ熱狂シテ騒イダ

時代ガアルノデアリマス、然ルニ我國ニ於テ將來天然石油バカリト云フ譯ニモ行カヌデアリマセウガ、人造石油ト合セテ自給自足ヲヤラウト云フ方針ノ下ニ、恐ラクハ政府ハ案ヲ立テテ居ラレルコトヲ思フノデアリマス、勿論此仕事ハ危險ガ伴フノデアリマスカラ中々僅ナ補助金位ノ程度デハ、此開發ハ私ハ容易デハナイト思フ、隨テ將來此資源ノ開發ニ付テ國家ガ之ヲ國營トシテヤルコトニ付テ、何カ御調査ヲナサツタコトガアリマスカ、大臣ハオ居デニナリマセヌガ、局長サンニ伺ヒタイト思フノデアリマス、コンナコトヲ御調ニナツタコトハアリマスカ

○竹内政府委員 別ニ國營デ試掘スルト云フヤウナコトヲ、取立テテ研究ヲシタ譯デハアリマセヌケレドモ、試掘ヲ促進シテ行クト云フ爲ニハ、ドウ云フ方法ヲ講ジタラ宜シイカト云フコトハ、是ハ吾々事務當局トシマシテ常ニ念頭ヲ去ラナイ問題デアアルノデアリマス、サウ云フ際ニ自然國家ガ直營ヲスルト云フコトモ考慮ノ中ニ入ッテ來ル譯デアリマス、併ナガラ結局鑛區ト云フモノガ御承知ノ通り、鑛業法ノ規定ニ依リマシテ、個人ノ所有ニナッテ居リマスノデ、詰リ國營デアリマスレバ、計畫的ニ合理的

ニ開發ガ出來ルト云フコト、竝ニ資力ノ關係、斯ウ云フコトガ國營デヤッタラドウカト云フ一ツノ考ノ理由ニナルト思フノデアリマス、ソレデサウ云フヤウナ權利關係ニ特ニ觸レルコトヲ避ケマシテ、今申上ゲマシタ國營ノ利益トシテ考ヘラレマスルコトハ、今度ノ助成金竝ニ此法律ニ依リマシテ目的ヲ達シ得ルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、即チ資力ノ點ニ於キマシテハ、從來大體試掘費ノ二分ノ一ヲ補助致シテ居リマシタガ、今回ハ之ヲ改メマシテ三分ノ二ヲ補助スル、尙ホ試掘ヲ致シマスモノニ資力ガ乏シイト云フ場合ニハ、金額マデ補助シテ行カウト云フコトニ今後ハ改メテ行キタイト思フノデアリマス、ソレカラ計畫的、合理的ニヤツテ行クト云フ點モ、此法律ノ實施ニ依リ十分其目的ヲ達シ得ルノデアラウト思ヒマスシ、又鑛區ト鑛區トノ間、甲乙兩者ノ間ノ關係ガ試掘ノ促進ヲ今日マデ若干妨ゲテ居ルノデハナイカト思ハレル點等ニ鑑ミ、此法案ニ於テ其問題モ解決ヲ圖ッテ行クト云フ風ニ致シマシタノデ、吾々ハ國營ナラバ斯ウ云フ利益ガアラウト思ッテ居リマスコトハ、今後ハ之ニ依リ其目的ヲ達シ得ルト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○板谷委員 先般大臣ガ本會議ニ於ケル所

ノ御答辯ニ依ルト、五年後ニ於テ人造石油ト天然石油ト需要供給ノ半分ダケハ出來ル見込デアアル、天然石油ニ對シテハ油田八十箇所ヲ選ンデ一地域ニ二箇所又ハ四箇所油井ヲ掘ル積リデアアル、サウシテ二百四十ノ井戸ヲ五箇年間ニ掘ル、其補助金ガ今政府委員ノ御説明ノヤウニ從來二分ノ一ノモノヲ三分ノ二或ハ全額、五箇年間ニ千數百萬圓、十三年度ノ豫算百七十萬圓ト云フコトデアルガ、一體斯ナコトデ五箇年後ニ半分ノ供給ガ出來マスカ、勿論人造石油モ合セテデアリマセウガ、一體帝國燃料會社ノ如キモ御承知ノ通り昨午議會ノ協賛ヲ得テ會社ガ成立シテ居ル筈デアアル、一體此仕事ハ今日マデニドノ程度マデ進行シテ居リマスカ、此問題ハ後ト致シマシテ、今私ガ此天然石油事業ニ關係シテ御尋シタイコトハ、是ダケノ豫算デアッテ、是ダケノ計畫デアッテ、五年後ニハ其半分自給自足ガ出來ルト云フ確信ガアリマスカ

○竹内政府委員 數年後ニ於ケル需給ノ見透シニ付キマシテハ、天然石油ダケデナク、人造石油ノ方ハ兩方デ大體其時ノ推定需要量ノ半ヲ國內デ自給シテ行キタイト云フノガ計畫デアリマス、人造石油ノ方ハ帝國燃料工業會社ガ出來マシタガ、御承知ノ通

リアレハ大體民間ノ企業ニ對シテ投資ヲシテ行クト云フコトガ目的デアリマスノデ、民間企業ノ總意ヲ尊重致シマシテ、隨分澤山ナ工場ヲ實ハ拵ヘナケレバナラスノデアリマス、ソレヲ資本ノ方ニ於テ援助シテ行クト云フノガ帝國燃料會社ノ實ハ最モ大キナ使命デアラウト思フデアリマス、會社ハ成立致シマシタケレドモ、只今ハアノ會社自身ガ別ニ工場ヲ經營スルト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌカラ、形ニ見エナイノデアリマスガ、現在ノ所デモ既ニ民間ニ於テ各方面デ人造石油ノ計畫ヲ色々ヤッテ居リマス、帝國燃料會社ト連絡ヲ取ッテ、其計畫ノ實現ヲ今銳意努力シテ居ル次第デアリマス、此事業ハ技術的ニモ非常ニ困難ガアリマスカラ、非常ナ努力ヲ今後シナケレバナラスト思ヒマスガ、豫定ノ年度内ニ豫定ノ生産ヲシテ行クトハ可能デアラウト考ヘテ居リマスシ、又ソコヲ目標ニシテ今後モ大イニ努力シナケレバナラスト思ッテ居リマス、ソレト關聯シテ天然石油デアリマ

ガ、實ハ天然石油ノ此法案ハ、必シモ増産ヲ直接ノ目的ニ致シテ居ラナイノデアリマス、勿論ハ内地ニ於テ石油ヲ餘計採掘シヨウト云フノガ終局ノ目的デアリマスガ、先ヅ以テ石油ノ存在ヲ知リタイト云フコトガ、

實ハ此試掘ノ目的ナノデアリマス、隨ヒマシテ前回ニモ私御答辯申上ゲタノデアリマスガ、此試掘計畫ニ依ッテ數年後ニドレダケノ油ガ取レルト云フコトハ、是ハ申上ゲラレナイト云フコトヲ御答シマシタノハソレガ爲ナノデアリマス、唯御尋ニ對シマシテハ、政府トシマシテハ、天然石油、人造石油相並ンデ先程申上ゲマシタヤウナ所ヲ目標ト致シマシテ、銳意努力シテ行カネバナラスト考ヘテ居リマス

○板谷委員 ドウモ御答辯ハ要領ヲ得マセヌ、大體此目的ハ石油資源開發ニ關スル所ノ法案デアリマス、唯石油ガ有ルカ無イカ調ベルト云フヤウナソナ生溫イコトデハ此國策ノ解決ガ出來ヤウガナイノデアリマス、勿論出來ルダケノ増産ヲ圖ル、既ニ大臣ハ五年後ニ於テハ我國ノ需要ノ半分ダケヲ供給シ得ル見込ガアルト云フコトヲ言ハレタ以上ハ、ソレニ對スル相當ノ案ガナケレバナラス、帝國燃料株式會社ノ如キモ資金ヲ供給スルノミデアッテ、折角努力中デアルト云フ御話デアアルガ、是ハ既ニ昨年決ッテ居ル問題デアリマス、然ルニ今努力中デアルト云フヤウナヤリ方デハ前途此問題ノ解決ハ中々出來ナイト思フ、デアアルカラ政府當局ハモットシツカリオヤリニナラナケレバ

何時マデ經ッテモ目鼻ガ付カヌト私ハ思フ、現ニ帝國燃料會社ハ御承知ノ通り七箇年ノ計畫事業デ以テ七億七千萬圓ノ經費デヤラウト云フノデアリマス、龐大ナ計畫バカリ立テテ、今努力中デアルト言ハレルガ、一體ドノ程度マデ進行シテ居ルカ、ドノ方面デオヤリニナルト云フ計畫ガ立ッテ居ルカ、ソレヲ承リタイ

○竹内政府委員 アノ計畫ハ帝國ノ領土内ダケデナク、滿洲ヲ合併セテ考慮サレテ居ルノデアリマスルガ、現在内地ニ於キマシテハ、北海道ノ石炭ヲ原料トシテ人造石油事業ヲ起シタイト云フ計畫モアリマスルシ、又南樺太ノ石炭ヲ原料トスル現在アル人造石油ノ擴張計畫モアリマス、又朝鮮ニ於キマシテモ、滿洲ニ於キマシテモ、既ニ會社ガ成立シマシテ、工場建設中ノモノガ數箇所アリマス、又九州ノ炭ヲ原料トスル計畫モ是亦具體化致シテ居リマシテ、其準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、其外此處デ今具體的ニ何處ト申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、各地ニ於キマシテ、又色々ノ會社ニ於キマシテ、人造石油ノ計畫ガ進行中デゴザイマス

ガ何時頃ナラ目鼻ガ付ク御見込デアアルカ、折角努力中デアルト云フコトデアアルガ、御承知ノ通り既ニ昨年議會ヲ通過シテ會社マデ成立サレテ居ル、ソレガ未ダ目鼻ガ付カヌト云フコトデハ、私共前途非常ニ憂慮ニ堪ヘナイガ、一體何時頃はガ實現スルト云フ御見込デアリマスカ

○竹内政府委員 大體年度ノ計畫ヲ實ハ私共持ッテ居ルノデアリマスガ、今申上ゲマシタ國內デ供給シ得ルモノガ其時ノ需要ノ半バニ達スルデアラウト云フ時期ハ、今後大體六箇年後ニナルト思フノデアリマス、ソレ迄ノ間ニ漸次工場ガ殖エテ行クト云フコトニナル譯デアリマス

○板谷委員 ドウモ恐入ッテ御答辯ダト思フ、帝國燃料會社ガ七箇年度繼續事業デ七億七千萬圓ノ資金ヲ以テヤル、然ルニ事業ノ計畫ノ目鼻ガ付クノガ六箇年後ト云フノハドウ云フ譯デスカ、コンナコトデ現在ノ國策ニ順應シテ行ケマスカ、天然石油ノ如キハ今ノ御説明ノ通りダト、大體石油ガ有ルノカ無イノカ、ソレヲ調ベルノガ目的ダト云フヤウナ御答辯デアリ、一方人造石油ハ六箇年後デナケレバ實現シナイト云フヤウナ御答辯デゴザイマシタ、ソレデ目的ガ達セラレマスカ、餘リ言葉ハ率直デアリマ

スケレドモ、ソシナ生溫イコトデ解決ガ出來ルカドウカ實ニ驚キ入ッテ居ルノデス、モウ一遍承リタイ

○竹内政府委員 ドウ云フヤウニ御答シトラ宜イカ一寸分リマセヌガ、其計畫ノ實現スルノハ、只今申上ゲマシタヤウニ年度計畫ガアリマシテ、其計畫ガ當初カラ大體七箇年計畫ト云フコトニナッテ居リマスカラ、其年度ノ終ニ其目標ニ達スルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今事業ガソレデハ緒ニ就カヌノデアルカト云フコトデアリマス、ソレハサウデハナイ、緒ニ就イテ居ル、唯何處ノ會社ガ何時成立スルカト云フヤウナコトハ、今申上ゲラレナイ、斯ウ御答シタ譯デアリマス

○板谷委員 是ハ重大ナ國策デアリマスカラ、私ハ何レ適當ノ機會ニ大臣カラ一ツ説明ヲ承ルコトニ致シマセウ、大臣ハ今申上ゲマスル通り、五年後ニ於テ人造石油天然石油ト需要供給ノ半分ダケハ出來ルト云フ御方針ノ下ニヤッテ居ラレルノデアリマスカラ、今アナタノ御答辯デハ私ハドウモ前途非常ニ覺束ナク感じテ居ルノデアリマス

ソレカラ更ニ伺ヒタイコトハ、併シ是モ大臣ノ御答辯デナケレバ困ルト思フノデア

リマスガ、政府ガ補助金ヲ出シテ有ユル方面ニ試掘ヲサセ、幸ヒ相當ノ利益ヲ擧ゲタ場合ニ於テハ、ソレ等ノ會社ニ對シテ、或ル程度ノ配當制限ヲ行ッテ、積極的ニ事業ノ擴張ニ當ラセルト云フコトガ、苟モ政府ノ保護ヲ受ケタル以上ハ私ハ適當デハナイカト考ヘルガ、何カソレニ付テ御考ハアリマセヌカ

○竹内政府委員 開發サレマシタモノカラ擧ガル利益ヲ以テ、將來ノ開發ニ努力セシムルト云フコトハ、當然サウナクテハナラヌコトダト思ヒマス

○板谷委員 私ノ申上ゲマスノハ、或ル程度ノ配當制限ヲ行ハセテ、一面其利益ヲ以テ擴張施設ニ當ラセル、所謂配當制限ヲスル意思ガアリヤ否ヤト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○竹内政府委員 直接會社ノ配當ヲ制限スルト云フヤウナコトハ、色々ナ關係ガアリマシテ、必シモ適當デナイト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯會社ガ石油ノ探掘ニ依リマシテ、非常ナ利益ヲ擧ゲテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、唯利益ノミニ走ラズ、新ナル油田ヲ開發シテ行クト云フコトハ、是ハ行政的ニ十分指導シ得ルコトデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○板谷委員 國策ニ關スルコトハ、何レ適當ノ機會ニ大臣ニ御尋スルコト致シマシテ、此點ハ保留致シテ置キマス

ソレデ此法案ノ條文ノ疑義ニ付テ承リタイト思ヒマス、第三條ニ於テ「政府ハ前條ノ試掘助成金ニ依ル試掘ノ結果開發セラレタル油田ヨリ採油ヲ爲ス者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ採油開始後五年間採油價額ノ百分ノ二以內ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得、前項ノ油田ノ地域及深度ハ政府之ヲ指定ス」トアル、勿論相當ナ油ガ出テ、之ニ對シ或ル程度ノ金額ヲ納付スルコトハ、政府ノ補助ヲ受ケテ居ル以上ハ當然ナコトデアルト思フ、其額ノ如何ハ別問題トシテ、此趣旨ニハ私ハ同意デアリマスガ、コ、デ問題ナノハ、地域及ビ深度ト云フノハ政府ハドウ云フ方針ノ下ニ定メラレルノデアアルカ、私ハ昨年秋田縣、雄物川ノ油田ヲ視察ニ行ッタコトガアリマスガ、彼處ハ御承知ノ通り境界ヲ接シテ居ル間際ノ自分ノ鑛區デナイ詰リ他鑛區迄モ一緒ニ掘ッテ居ルト云フヤウナ關係デアリマスガ、隣接鑛區デアッテモ同一油脈カラ油ガ出タ場合ニ付テハドウ云フ御方針デア

ルカト云フコト、ソレカラ其深度ニ付テハ、例ヘバ政府ノ補助ヲ貰ッテ居ル者ガ三百米デ出タ場合ニ於テ、其隣接鑛區ガ五百米或

ハソレ以上掘ッタ場合、深度ガ違フト云フ場合ニ付テハ其境界ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○竹内政府委員 油ガ出マシタ場合、同一油田デアリマス、助成金ヲ直接貰ッテ居リマセヌ隣接鑛區ノ持主ニモ其油ニ對シテハ納付金制度ヲ適用シテ行ク積リデアリマス、ソレカラモ取ル積リデアリマス、ソレカラ深度ニ付テハ斯ウ云フコトニナルノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ政府デ千米ノ深度ヲ豫定シテ獎勵金ヲ交付シタ場合ニ、獎勵ニ依ル豫定ノ仕事ハ進ンダ譯デアリマスガ、更ニソレ以上掘リマシテ油ガ出ルト云フヤウナ場合ハ、此適用ノ外ニナルト思ヒマス、併ナガラ其間ニ於テ出タモノハ、其獎勵ノ指令ノ條件ニモ依リマスケレドモ、油脈ハ必シモ水平ニミ行ッテ居ル譯デモアリマセヌカラ、サウ云フ、其豫定ノ深度以內ニ於テ終リマシタ場合ニハ徵收スルト云フ結果ニナルト思フノデアリマス

○板谷委員 ソレカラ油ガ出ルト致シマシテモ、或ハ一石、或ハ二石ト云フノデ不足ノ場合ガアッテ、全體ノ計算ヲシテ見ルト損ヲスルト云フ結果ニナル、勿論此趣意ハ利益ノ範圍內ニ於テ行ハレルモト思フノデアリマスガ、若シ一石デモ二石デモ幾ラデモ

構ハヌ、油ガ出タ場合ニ百分ノ二以内ニ相當スル額ヲ納付セイト云フコトニナッタナラバ、試掘ノ促進ハ阻止萎縮サレル結果ニナリハセヌカト思フノデスガ、之ニ付テノ御見解ハ如何デアリマスカ

○竹内政府委員 私共モ全然御同様ニ考ヘテ居リマス、是ハ決シテ助成金ヲ貰ツタカラ必ズソレヲ返セト云フヤウナ觀念カラ出發シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、ソレニ依リマシテ相當利益ガ舉ガルト云フヤウナ場合ニ、政府ノ負擔ヲ輕減スル意味ニ於キマシテ、又公正ノ觀念カラ申シマシテ、極ク僅ナ納付金ヲサセルト云フノガ趣意デアリマシテ、隨テ今御話ノヤウナ、油ハ出ルニハ出タガ、極メテ僅少ナモノデアルト云フ場合ニハ、無論是ハ徵收スル考ハナイノデアリマス、隨テ此法律ニモ百分ノ二以内ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得ト云フ風ニ彈力性ヲ持タシタノハ全ク其爲デアリマシテ、開發サレタ油田ガ經濟的ニ經營シ得ルト云フ所ガ限界デアラウト思フノデアリマス

○板谷委員 勿論資源開發ガ目的デアルトスレバ、ソレ等ノ運用ハ餘程適當ニオヤリニナラヌト云フト、ソレガ爲ニ試掘ヲ阻止シ、或ハ萎縮セシムルト云フヤウナ結果ニ

ナツテハ目的ニ副ハヌ譯デアリマスカラ、餘程此點ハ運用宜シキヲ得ルヤウニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ尙ホ伺ツテ置キタイコトハ、五年ト限ツタノデアリマスルガ、五年以内デアツテモ、貰ツタ補助金ガ其額ニ達シタ場合ニ於テハ、之ヲ打切ル方針デアリマスカ、此點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 是ハ五年以内ニ助成金ノ額ニ達シマシテモ、制度トシマシテハ打切ラナイ考デアリマス、ソコデ此率ト云フモノハ、最初カラ成ベク多クシタクナイノデアリマス、是ハ前回ニモ御尋ガアリマシテ、簡單ニ御答ハシテ置イタノデアリマスガ、前段御答致シマシタ通り、鑛區ガ甲乙二人ニ分レテ居リマスルコトヲ豫想致シマスルト云フト、納付金ノ限度トスルト云フコトニ致シマシテハ、其適用ニ非常ニ困難ヲ生ズルノデアリマス、隨テ立前トシマシテハ納付金ノ限度トハ致シマセヌケレドモ、實際ニ於キマシテ、此百分ノ二ト云フノハ——是モ詳シク御説明申上ゲナケレバナリマセヌガ、例ヘバ先程申上ゲマシタ全額補助スルト云フヤウナ最高ノ場合ニ、百分ノ二ト考ヘテ居ルノデアリマシテ、普通ノ場合ニ於キマシテハ、ソレヨリハズツト少イ額

デ、是ハ商工省令ヲ以テ決メタイト云フ考デアリマスノデ、獎勵金ノ額以上ニナルト云フコトハ、實際ニ於テハ實ハ豫想シテ居ラナイノデアリマス

○板谷委員 獎勵金額以上ニナルコトハ、實際ニ於テ豫想ハシテ居ラヌガ、五年デ打切ル考ガナイトスレバ、其井戸ガ將來ドシ／＼出ルト云フコトニナレバ、所謂一種ノ權利ト云フカ何ト云フカ、引續イテ納メナケレバナラヌト云フヤウナ今ノ御方針デアアルガ、併ナガラ此第三條ハ、政府ガ前條ノ試掘助成金ニ依リ試掘ノ結果出タソレニ對スル所謂納付金デアルカラ、今ノヤウナ御方針ハ私ハ助成金ノ趣意ニ副ハヌノデヤナイカト思フ、政府ハ何モ金儲ヲスル必要ハアリヤシナイ、助成ノ目的ヲ達シサヘスレバ宜シイ、ソレカラ又助成金ガ幸ニ出タナラバ手許ニ持ツテ來レバ宜シイト云フ風ニ私共ハ解釋シテ居ルノデスガ、ソシナ風ニ解釋ハ出來マセヌカ、ソレガ又此資源開發ノ目的ヲ達スル所以デヤナイカト思ヒマスガ、今一度御答辯ヲ願ヒマス

○竹内政府委員 結局是ハ歩油ノ率如何ト云フコトニナルノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ先程モ御答シマシタ通り、勿論之ニ依ツテ政府ハ收入ヲ擧ゲタイ

ト云フヤウナ考デハゴザイマセヌケレドモ、只今御話シマシタヤウニ、適用ノ方法トシマシテ、ソコヲ限度トスルト云フコトガ事實困難ト思フノデアリマス、唯其結果非常ニ油ガ出タ場合ニハ、率ハ少クデモ、助成金以上ニナルコトガアルノデハナイカ、斯ウ云フ御趣意ダト思ヒマスガ、ソレハ非常ニ澤山油ガ出マシタ場合ニハ、率ヲ低イ所ニ決メテ置キマシテモ、助成金以上ニ是ガナルコトハアルト思フノデアリマス、併ナガラサウ云フ場合ニハ、假ニソレガ助成金以上ニナリマシテモ、當業者ガ非常ナ負擔ヲスル譯デモアリマセヌノデ、寧ロサウ云フ納付金ト云フモノガ積リ積リマスレバ、將來ニ於ケル試掘ト云フモノニ對シテ政府ガ更ニ一層ノ計畫ヲ立テルコトモ出來ルノデアリマシテ、差支ノナイコトデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○板谷委員 此點ハ會社ノ將來事業發展ノ上ニ重大ナ影響ノアルコトト私ハ思フノデアリマス、勿論先程御話スルヤウニ、會社ガ相當ノ利益ヲ擧ゲタ場合ニ於テハ或ル程度ノ納付金ヲ納メルコトハ、苟モ政府ノ保護ヲ受ケテ居ル以上ハ當然デアアル、私ハ幸ニ利益ガアルナラバヤハリ或ル程度マデ配當制限ヲ行ツテ、ソレヲ事業擴張ニ向ケルト

迄言ウテ居ルノデアリマスカラ、別ニ會社側ノ提燈ヲ持ッテ御話スルノデハ絶對ニナイノデアリマスガ、併シ苟モ資源ヲ開發スルト云フコトニ付テハ、其意思ニ副フヤウニ運用宜シキヲ得ナケレバナラヌト思フノデス、私ハ是レ以上質問シマセヌガ、此點ハ餘程御考慮ニナツテ、百分ノ二以内ト云フコトニナツテ居ル以上ハ、詰リ補助金以上ヲ超過シナイヤウニヤツテ戴キタイト云フ希望デアリマス

ソレカラ第七條デスガ、是ハ極メテ漠然トシテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ油脈ト云フモノハ極メテ細イモノデアッテ、私モ石油ニ付テハ幾ラカ經驗ヲ持ッテ居ル者デアリマスガ、從來ノヤリ方ヲ見マシテモ、此法案カラ行クト、「政府石油資源ノ開發促進上必要アリト認ムルトキハ石油鑛業者ニ對シ其ノ鑛區ノ開發方法其ノ他必要ナル事項ニ付他ノ石油鑛業者ト協議ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得」トアリ、「石油鑛業者他ノ石油鑛業者ノ鑛區ト隣接スル自己ノ鑛區ノ境界線ヨリ五十メートル以内ノ地域ニ於テ探掘ヲ爲サントスルトキハ鑛利保護上必要ナル事項ニ付豫メ隣接鑛區ノ石油鑛業者ト協議ヲ爲スベシ」ト云フコトガアルノデアリマスガ、大體此境界カラ

五十米ノ地域ト云フコトニナルト、合セテ百米トナルノデアリマスガ、離レ過ギハシマセヌカ、私ハ是ハモット或ハ四十米カ三十米位ニヤツテモ、却テソレガ適當デナイカト思フノデアルガ、御意見如何デアリマスカ

○竹内政府委員 是ハ御話ノヤウニ、合セマスト百米デアリマスルシ、又鑛區ト鑛區トノ間ニ二十米ノ間隔ヲ今日置クコトニナツテ居リマスルカラ、ソレヲ合セマスト百二十米ニナル譯デアリマス、是ハ實ハ技術上ノ問題ニナリマスケレドモ、油田ノ深サガ相當深イ場合ニ於キマシテハ、井戸ト井戸トノ間ニ合理的ナ間隔ト云フモノガ要求セラレテ居ル譯デアリマス、其大體ノ限度ガ百米カラ百二十米ト云フコトニ今日言ハレテ居ルノデアリマス、ソコヲ大體限度トシタ譯デアリマス、ソレデ今御話ノヤウニ、油田ノ實情ニ依リマシテハ、井戸ト井戸トノ間ニ是ダケノ距離ヲ無論置カナクテモ宜イト云フコトガ多イダラウト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハ無論是ハ百二十米ノ間ニ於キマシテハ一本シカ井戸ヲ掘レナイト云フノデハナイノデアリマシテ、其井戸ノ掘リ方、井戸ノ間隔ト云フモノニ付テ兩鑛區ノ間デ協議ヲスルト云フノデアリマス、鑛利保護上必要ナ間隔トシテ

ハ此油田ナラ此位ガ適當ダラウト云フコトヲ兩方ニ協議サセル、斯ウ云フノデアリマシテ、決シテソコニ絶對的ノ制限ヲ致シタ譯デハナイノデアリマス、隨テ此適用ハ原則トシテ其兩鑛區鑛業者間ノ協議ト云フコトガ前提トナルノデアリマスルカラ、大體御意見ノヤウナ趣旨ニ是ハ適用サレルト思フノデアリマス

ソレカラ起チマシタ序ニ一寸申上ゲテ置キマスガ、先程ノ歩油ノ問題ニ付テハ餘程運用上氣ヲ付ケテヤラナケレバナラヌト云フ御話デアリマスガ、私共モ此規定ハ合理的デアリ、又是ガ特ニ隣接鑛區ノ間ノ開發ヲ促進スル一ツノ動機ニモナルト云フヤウナ考ヲ以チマシテ、第三條ノ歩油ノ制度ヲ此度法制化シヨウトスルノデアリマスルガ、此運用如何ニ依リマシテ當業者ノ開發心ヲ幾分デモ殺グト云フヤウナコトガアリマシテハ、吾々ノ立法ノ趣旨ニ副ハナイノデアリマシテ、此點ニ付キマシテハ十分注意ヲシテ、サウ云フヤウナ弊害ニ陷ラスヤウニスルト云フコトガ此立法當時カラノ考デアリマスノデ、只今ノ御意見ハ十分尊重シテ行キタイト思ヒマス、序ニ御答申上ゲマス

○板谷委員 第七條ハ只今ノ御説明デ分リ

マシタガ、隣接ノ石油鑛業者ト協定サセルト云フコトデアリマスガ、其經營者ガ力ノ無イ者デアリ、或ハ世間ノ稱シテ居ル所謂山師的ノ者ガソレヲ持ッテ居ッテ場合ニ於テ、オ前ノ方ガ先ニ始メロ、其間コッチハ掘ラスト云フヤウナコトニナルト、詰リ何レカ一方ガ控ヘナケレバナラヌ、幸ニ力アル者ガ其鑛區カラ掘リ出シテ、油ガ出タ場合ニハ俺ノ方デ掘ルト云フヤウナ爭ガ將來起リハシナイカト想像サレルノデアリマス、隨テ其地ニ對スル分擔問題モソコニ起ルノデアリマス、是ハドウ云フ風ニ御解釋デアリマスガ、詰リ自然ニヤルト云フ場合ト、ソレカラ井戸ヲ掘ッテ其結果油ガ出タト云フ場合ト、ソコ違フノデスガ、政府ノ方針ハ一體ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○竹内政府委員 鑛區ヲ接シテ居リマス業者ノ間ニ於テ、其立場ナリ或ハ石油鑛業ト云フモノニ對スル眞面目サ程度ニ於キマシテ色々ナモノガアルダラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ其當業者間ノ協定ノ儘ニ之ヲ委セテ置クト云フコトハ開發促進上カラ申シマシテモ、又鑛利ヲ保護スル上カラ申シマシテモ適當デナイト云フヤウナ場合ヲ私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ

第七條ノ三項ニ於キマシテ、兩當業者ノ間

ニ話ガ假ニ形式的ニハ纏マリマシテモ、ソ

レガ眞ニ兩鑛區鑛業權者ノ眞意デアルカ、

果シテ眞面目ニ兩方ガ納得シテ協定シタノ

デアルカト云フヤウナ點ハ、是ハ十分政府

トシテ見テヤラナケレバナラス問題ダト思

フノデアリマス、其意味ニ於キマシテ、ソ

レガ適當デナイト考ヘマシタ場合ニハ、此

法律ノ三項ニ依リマシテ、其決定ヲ變更ス

ルト云フ所マデ行カナケレバナラスト考ヘ

テ此立法ヲ致シタ譯デアリマス、實際ノ運

用ト致シマシテハ、實ハ現在法律ハアリマ

セスケレドモ、幾ラカ此兩鑛區ノ間デ相手

ノ顔色ヲ見テ居ルト言ヒマセウカ、向フノ

方ガ先ニヤツテ呉レバ宜イガト云フヤウ

ナ氣持デハナカラウカト云フヤウナ想像ノ

下ニ兩鑛業者ノ意見ヲ徴シマシテ、オ互ニ

協定ヲシテ一ツ此際積極的ニ掘ツテ見タラ

ト云フヤウナコトモ從憑セントシタコトモ

アルノデアリマス、併ナガラヤハリ是ハ法

律ノ根據ガアリマセスト徹底的ニ行カナイ

ノデ、今回其法律ヲ置イタノデゴザイマス

ケレドモ、實際ノ運用トシマシテハ、此法律ヲ

背後ニ持ツテ、サウシテ此法律ノ適用ニナル

前ニ業者ノ協定ヲ政府ガ斡旋ヲスル、サウ

シテ只今御話ノヤウニ、兩方ノ鑛區ガアリ

マス場合ニ、ドチラカ一方ヲ掘ツテ其經費ヲ

兩方デ分擔サセマスとか、或ハ又一方ダケ

ガ經費ヲ負擔ヲシテヤルガ、其代リ油ガ出

タ場合ニハ甲カラ乙ノ方ニ歩油ヲ出ストカ

云フヤウナ決メ方ガ出來ルト思フノデアリ

マス、要ハ常ニ此法律ノミニ依ッテ仕事ヲシ

ヨウト云フノデアリマシテ、實

際ノ斡旋ニ依リマシテ其間ノ圓滑ヲ期シテ

行クヤウニシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○板谷委員 ソレカラ第八條ニ政府ガ必要

ニ應ジテ「試掘又ハ之ニ關シ必要ナル事

項ヲ命ズルコトヲ得、政府前項ノ規定ニ

依リ試掘ヲ命ジタルトキハ第二條ノ試掘助

成金ヲ交付ス」斯ウ云フノデアリマスガ、

是等ハ私ハ政府ガ命令スル以上ハ其全額ヲ

補助スルト云フコトガ當然ノヤウニ考ヘテ

居ルノデスガ、政府ノ御意見ハ如何デスカ

○竹内政府委員 前回ニモ大體同ジ趣意ノ

御尋ガアリマシタガ、是ハ非常ニ大切ナ事

デアリマスカラ重ネテ御答ヘ申上ゲマス、

實行ト致シマシテハ、結局只今御尋ノヤウ

ニ、サウ云フ場合ニハ全額ヲ補助スルト云

フコトニナルト思フノデアリマス

○板谷委員 ソレカラ第九條ニ政府ガ「石

油鑛業者ニ對シ探油ノ制限又ハ増加ニ關シ

必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得」其場合ニ

於テ「生ジタル損失ヲ補償ス」ト云フコトガ

アルノデアリマスガ、此補償ノ範圍ハ極メ

テ漠トシテ居リマスノデ、例ヘバ其井戸カ

ラ多ク油ヲ或ハ制限或ハ増加スルト云フヤ

ウナ場合ノミデナク、御承知ノ通り何レノ

石油會社モ製油場ヲ持ッテ居ルノデアリマシ

テ、是等ニ關聯シテヤハリ相當ナ損害ト云

フモノガ起ルノデアリマスガ、此損失補償

ノ範圍ト云フモノハ、直接制限増加ト云フ

範圍バカリデナクテ、或ハ製油其他ノ關係

ノアル損失ニ對シテモ、補償爲サルト云フ

廣イ意味ノ補償デアリマスガ、此點ヲ一ツ

伺ッテ置キマス

○竹内政府委員 只今例ヲ御舉ゲニナリマ

シタ例ヘバ現ニ十本掘ッテ居ルヤウナ場合

ニ、ソレヲ五本ニ減ラシタ、サウスルト其

減ラサレタ五本ダケノ損害ニ止マルノカト

云フ御尋デアリマス、是ハ決シテサウ云

フ考デハナイノデアリマス、其制限スルコ

トニ依ッテ生ジマシタ直接ノ損害ト云フモノ

ハ其他ニモアルノデアリマス、例ヘバ間接費

ノ如キハソレダケ仕事ガ減ルコトニ依リマ

シテ一般ニ及ブ譯デゴザイマス、サウ云フ

モノガ制限ニ依リ直接ノ損失ト見マシテ補

償スルコトニナルト思ヒマス

○板谷委員 第十條ニ「政府ハ石油鑛業者

ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナ

ル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得」ト

云フコトガアリマス、是ハ先達テ栗山君カラ

モ御尋ガアッタヤウデアリマスガ、尙ホ私ハ

此際確メテ置クノデス、無論試掘ノ補助金

ヲ貫ッテ居ルモノハ政府ガ業務或ハ會計ニ

關シテ監督ナサル必要モアルダラウガ、補

助金ヲ貫ッテ居ラナイモノニ付テハ是ハ無

論オヤリニナラス御考デセウネ、如何デス

カ

○竹内政府委員 石油ノ資源開發ハ獎勵金

ヲ交付シテ居リマスルモノダケデナク、凡

ソ石油ヲ目的トシテ居リマスル鑛業權者ニ

此法律ハ適用シテ行キタイト思フノデアリ

マス、併ナガラソレガ爲ニ此第十條ノ規定

ガ會社ノ他ノ事業ニマデ及ブト云フ風ニハ

全然考ヘテ居リマセヌ、石油鑛業ニ關スル

限りニ於テ、此十條ガ適用サレルモノト解

シテ居リマス

○板谷委員 是ハ餘程慎重ニ御取扱ニナラ

ナケレバナラス、ト云フノハ第十一條ニ罰

金ノ其規定ガアル、御承知ノ通り罰金トナ

ルト所謂前科デアル、前科ト云フコトハ是ハ

重大ナ問題デス、隨テ今申上ゲマスルヤウ

ニ或ハ補助金ヲ胡麻化ストカ、不正ナコト

ヲヤル者ニ對シテハ、適當ナ處分ヲ爲スコ

トハ當然デアルケレドモ、兎ニ角苟モ自己ノ力ニ依ッテ營業ヲ行ッテ居ルモノニ對シテ、多少帳簿ニ於テ幾ラカ缺點ガアルトカ、或ハ會計ノ上ニ於テ不正ノアルナラ別問題デアリマスルケレドモ、多少ノ缺陷ガアルト云フヤウナ場合ニ於テ、サウ云フモノニ對シテハ一々之ニ該當シテ居ルモノデアルカラ罰金ヲ科スルト云フヤウナコトハ無論ナサラスダラウケレドモ、是ハ事業經營ノ上ニ於テ重大ナ關係ガアルコトデアリマスルカラ、其運用ニ付テハ餘程御注意ヲ願ハナケレバナラス、ソレカラ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トナッテ居リマシガ、一體是ハ何時頃カラ實施ナサル御考デアリマスカ

○竹内政府委員 十一條以下ノ罰則ノ適用ニ付テ其影響スル所ヲ十分慎重ニ考ヘナケレバナラスト云フ御趣意ハ全然御同感デアリマス、此種ノ助成法規ニ罰則ノ規定ガアリマスルノハ、罰ヲ以テ臨ムト云フ考デハナイノデアリマシテ、唯之ニ依リマシテ政府ノ政策ニ對スル業者ノ協力ヲ促ス一ツノ手段、サウ云フ程度ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ附加ヘテ申上ゲマスガ、獎勵金ヲ交付サレテ居リマセヌデモ、自分ハ別ニ政府ノ助成金ヲ貰ッテ居ラヌノダカラ、井ヲ掘ラウト掘ルマイト勝手ダト云フ風ノ考ハ止メテ貰ヒマシテ、兎ニ角天然ノ資源ヲ其人ガ或ル程度ニ獨占ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、計畫的ニ合理的ニ其開發ヲ促進サセヨウト云フ制度ニ對シマシテハ、ヤハリサウ云フ方ニモ協力ヲ是非御願シナケレバナラスノデアリマス、其意味デ獎勵ヲ受ケテ居ルモノニ限ラナイノデアリマスケレドモ、此適用ニ付キマシテ慎重ナ態度ヲ政府ニ要求サレルコトハ、御尤ノ次第ト考ヘテ居リマス、此法律ノ施行ハ成ベク早く施行スル運ビニ致シタイト思フノデアリマスガ、凡ソ何時頃ト云フコトヲ今茲デ速記ニ殘ス程度ニ御話ハ出來マセヌケレドモ、省令其他ノ準備ガ成リ次第施行致シタイト考ヘマス

○板谷委員 私ハ大體ニ於テ本案ノ條文ニ付テハ異議ハアリマセヌ、要スルニ此運用ニ付テハ將來十分ノ注意ヲ拂ッテ戴キタイ、ソレカラ序ニ御尋シマスガ、無水「アルコール」是ハアナタノ方ノ管轄デスカ
○竹内政府委員 「アルコール」ハ專賣局デ主管致シテ居リマス、併ナガラ「ガソリン」ニ「アルコール」ヲ混用セシメル法律ヲ前議會ニ於テ御協賛ヲ得タノデアリマスガ、アノ事項ハ私ノ方デヤッテ居リマス

○板谷委員 サウスルト其事業ハドノ程度マデ進行シテ居ルカ御分リニナッテ居リマスガ、御分リニナッテ居ラ御答辯ヲ戴キタイ

○竹内政府委員 「アルコール」ノ方ハ政府ノ直營ノ工場、民間ニ特許ヲ致シマシテ製造セシメテ居ルモノト兩方ゴザイマス、大體率直ニ申シマス、施行ガ少シ豫定ヨリ遅レルノデアリマスガ、是ハ「アルコール」ノ生産ガ少シ遅レルコトニナツタ爲デアリマシテ、其點私共ハ非常ニ遺憾ニ實ハ思ッテ居リマスガ、專賣局トモ十分連絡ヲ取リマシテ、出來ルダケ早く之ヲ施行シタイト今努メテ居ルノデアリマス、尙ホ「アルコール」ノ生産狀況其他ニ付キマシテハ、一部私共ノ手許ニ資料ハアリマスケレドモ、萬一思ヒ違ヒヲ申上ゲテモイケナイト思ヒマスカラ、ナニナラ專賣局ノ政府委員ニデモ後デ來テ貰フコトニシテ、御答ヲ致シタ方ガ宜カラウト思ヒマス
○板谷委員 ソレデハ「アルコール」ノ問題ニ付テハ適當ノ機會ニ專賣局長カラ御聞キ致シマス
尙ホ一點海軍ノ政府委員ガオキデ、アリマスカラ、海軍ニ御尋シタイコトハ先達テ本會議ニ於テ將來石油ノ供給ニ對シテハ不

安ガナイト云フ御答辯ヲサレテ居タヤウデマスガ、私ハ只今色々質問應答ヲ重ネテ見マス、五年間我國ノ需要ノ半額ヲ自給自足ニ依ッテ供給シ得ルト云フ大臣ノ答辯デアルガ、洵ニ是ハ心許ナク感じテ居ルノデアリマスガ、一體不安ガナイト云フ根據ハアリマスガ、如何ナル確信ヲ持ッテ不安ガナイト云フ御答辯ヲナサツタノデアリマスガ、ソレヲ海軍當局ニ伺ヒマス
○岸田政府委員 先日モ本會議テ大體御答致シマシタ通りデアリマシテ、海軍ト致シマシテハ、今日ノ情勢デハ、此時局ニ當リマシテモ油ノ點ニ付テハ不安ハナイ用意ヲ持ッテ居ルト云フ確信ヲ持ッテ居ルノデアリマス、尙ホ是カラモ長期戰ニ互リマシテ、又其間幾多ノ情勢ノ變化ヲ見ルトハ豫想シテ置カネバナラスノデアリマスガ、此場合ニ當リマシテモ、相當豐富ナル油ノ貯藏ヲ致シテ居リマシテ、此點ニ於テモ萬遺憾ナキヲ期シテ居リマスシ、尙ホ此上トモ御承知ノヤウニ人造石油製造事業ト云フモノハ、國策ニ基イテ色々擴張スルコトニナツテ、海軍モ相當ノ熱意ヲ持ッテ居リマスノデ、此方面ニ於ケル期待、竝ニ色々内地外地ニ互ッテノ天然資源ノ開發ト云フコトニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ色々對策

ガ講ゼラレテ居ルノデアリマスカラ、此方面ニ於テモ相當ノ用意準備ガアリト確信致シマシテ、是等相俟チマシテ將來ニ互ツテモ油ノ問題ニ關スル限り不安ガナイト云フノガ海軍ノ確信デアリマス

○板谷委員 私ハ今日ノコトヲ御尋シテ居ルノデアリマセス、今日ハ無論用意ガアリマセウ、併ナガラ將來萬遺憾ナキヲ期シテ居ルト云フ御話デアルガ、私ハ萬遺憾ガアルカラ(笑聲)御尋シテ居ル、ケレドモ是レ以上私ハ質問致シマセス、大體私ノ質問ハ此程度デ打切りマシテ、國策問題ニ付キマシテハ、何レ適當ノ機會ニ大臣ニ御尋シタイト思ヒマス

○森田委員長 私ハ板谷君ノ御質問ニ關聯シテ、一寸委員長トシテ二點バカリ拜承シタイト思フノデアリマス、石油資源ノ開發法案ハ、御話ノ通りニ政府ト鑛業權者、即チ國家ト國民トガ協力ラシテ石油資源ノ開發ニ努メヨウト云フ案ナノデアリマス、然ルニ法ノ第十一條、第十二條、第十三條ニ依ルト洵ニ重イ罰金ヲ科スルヤウニナッテ居ルノデアリマス、重要鑛物増産法ナドハ二千圓ト五百圓デアリマス、是ハ五千圓、二千圓、五百圓ト三段刻ミニナッテ居ルノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ重要鑛物増産法

ヨリモ此方ヲ重ク罰シナケレバナラヌト云フ點ヲ明ニシテ置イテ戴キタイ、先ヅ此點ヲ一ツ御答ヲ願ヒタイ

○竹内政府委員 十一條ノ規定ニ於キマシテ、五千圓ノ罰金ニ科セラレル事項ガ四箇條バカリゴザイマス、是ハ特ニ重要鑛物増産法ト比較シテ同ジ事犯ニ對シテ罰ヲ重クシタト云フ考ヘ方デハナイノデアリマス、刑罰ノ程度ハ重要鑛物増産法ト權衡ノ取レルヤウニ政府ハ立案ヲ致シタノデゴザイマス、唯第十一條ニ掲ゲテアリマスルヤウナ事項ハ、増産法ニアリマスル事項トハ事柄ガ少シ違フコトガ此處ニハ掲ゲラレテ居リマスノデ、ソレデ向フニハ五千圓ト云フモノガナク、コチラニハ五千圓ト云フモノガアルト云フヤウナ結果ニナッテ居ルノデアリマス

○森田委員長 此問題ハ何レ協議會ナドノ機會ニ——マダ一應進ンデ尙ホ協議會ノ必要ガアルト思ヒマスカラ、政府モ御考置ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ今一言御尋シテ置クノハ、内地ニアル營利法人デ營シテ居ル石油會社、之ニ對シテ政府ハ配當ノ制限ヲ試ミラレルヤウニ聞及ンデ居ルノデアリマスガ、勿論配當制限ヲ政府ガ命ズル法律ハアリマセス、

併ナガラ法律ハナクテモ往年砂糖會社ニヤツタコトガアルノデアリマス、近來ハヤッテ居ラスサウデアリマスガ、今後商工省當局、燃料局トシテハ左様ナ事ヲヤラレル考ガアルカナイカ、ハッキリト此席デ御答ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○竹内政府委員 率直ニ申上ゲマスガ、石油鑛業者ニ私共ノ期待シテ居リマスルコトハ、大イニ掘當テ、大イニ儲ケテ貰ッテ、サウシテ成ベク事業ノ基礎ヲ危クシナイ程度ノ配當モシテ貰ッテ、サウシテ民間ノ資本ガ石油鑛業ノ方ニ流レテ來易イモノニシテ行キタイ、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、非常ニ率直ナ御答デアリマスガ、サウ云フヤウナ氣持デ運用シテ參ル積リデアリマス、此法律ニ依リマシテ會社ノ配當制限等ラスル爲ニ、此第十條ヲ適用シヨウト云フヤウナ考ハ今日毛頭持ッテ居リマセス

○松本委員 私モ板谷君ノ質問ニ關聯シテ一寸御聽シタイノデス

○森田委員長 ドウゾ……

○松本委員 只今第三條ノ納付金制度ノコトニ付テ政府委員ノ説明ヲ承リマシタガ、ドウモハッキリシナイヤウデス、此條項カラ見レバ、利益損失ニ拘ラズ百分ノ二以內ニ相當スル金額ハ納付セシメルコトニナッテ

居ル、政府ノ御説明ニ依ルト、サウ云フ事情ハ斟酌シテヤル積リデアルト云フ説明デアリマスケレドモ、法文ニ斯ウハッキリト規定シテアレバ、自ラ當業者ノ方ニ於テモ不安ガアルト思ヒマス、寧ロ利益ノアツク場合ニ其百分ノ二以內ナラ百分ノ二以內ヲ納付セシメルト云フ規定ヲ設クル方ガ、法文トシテハ適當デナイカト吾々ハ思ヒマス、又板谷君ノ質問ニ對シテ、助成金ニ達シタ場合ニハ、其助成金ニ止メテ置ク方ガ宜イノ

デハナイカト云フ質問ニ對シテモ、成ベクサウ云フ方針デ行クヤウナ、ドウモハッキリシナイヤウナ答辯ニ私ハ伺ツタ、元來助成ノ精神カラ考ヘマシテモ、政府ガ斯様ナ重大國策ニ助成スル場合ニ當ッテ、利益ヲ得ヨウト云フコトハ、其精神ニ非常ニ反スルコトデアルト思ヒマス、本會議ニ於テモ論ゼラレタ所デアリマスガ、一體燃料國策ニ對スル政府ノ獎勵助成ノ力ガマダ不徹底デアル、モット金ヲ出シタラ宜カラウト迄痛論サレテ居ル、吾々モサウ考ヘテ居リマスガ、今現レタル案ニ依リマシテモ、何カ吾々ハ政府ハ石油事業ニ對シテ幾ラカ投機的な意味ガアルカラ、之ヲ助成スルニ當ッテモ成ベク損ヲシナイヤウニ、戦々兢兢トシテ、國論ニ動カサレテ仕方ナク助成スルノデハナ

イカト云ツタヤウナ感ジラ起サセル、甚ダ私ハ遺憾ニ思フ、斯ウ云フコトハハ、ッキリシテ、政府ハ助成シタ金額ニ達スルナラバ、其達シタル程度ニ於テ納付セシメルト云フコトニ明文ヲ御置キニナツタ方ガ當業者モ亦安心ヲシ、獎勵ノ精神ニモ適シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テモウ一度ハッキリ政府委員ノ御答辯ヲ御願シタイ

○竹内政府委員 油ヲ取ツテモ利益モ擧ラヌ程度デアルヤウナ場合ニモ是ガ適用サレル處ガアルト云フ意味ニ於テ御尋ト、先ヅ第一問ヲ解シマスガ、開發セラレタル油田ト云フモノハ——掘ッテ其處カラ油ガ少シ出タト云フヤウナモノハ開發セラレタノデハナイカト思フノデアリマス、開發セラレタト云フコトハ、採油ヲ見ルニ至リマシタ油田デアッテ、ソレガ經濟的ニ經營セラル、ト云フコトデ、始メテソレガ開發セラレタル油田ト言ヒ得ルモノト思フノデアリマス、隨テ只今ノヤウナ御心配ハ、吾々運用上ニ於キマシテモ考ヘテ居リマセヌシ、又法文ノ解釋ト致シマシテモ、サウ云フヤウナコトニハナラナイト是ハ確信致シテ居リマスソレカラ納付金ノ制度、何カ政府デ開發ヲ抑制スルヤウナ心持ガアルカノ如ク見ラ

レル處ガアルト云フ御尋デアリマシタガ、勿論政府ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ氣持ヲ持ツテ居リマセヌコトハ、私ガ御答スル迄モナイコトデアリマスガ、大體現在デモ實ハ歩油ト云フ納付金ノ制度ヲヤッテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回法文化シマシテ、一ツノ體系ヲ整ヘマスルト共ニ、從來ハ助成金ヲ貰ツテ居リマシタ其人ニノミ納付金ヲ納付サセルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ油田ノ性質カラ申シマシテ、決シテ合理的デナイノデアリマス、唯油田ト云フモノハ天然ニ存在シテ居リマシテ、鑛區ト云フモノハ是人爲的ニ決メラレテ居ルノデアリマス、其一ツノ鑛區カラ油ガ出ルト云フコトガハッキリ致シマスレバ、隣ノ鑛區ハソレデ其價值ガ決メラレルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ其隣接ノ鑛區、即チ獎勵金ヲ貰ツテ居リナイモノモ之ヲ負擔スルト云フノガ合理的ダ、斯様ニ實ハ考ヘタノデアリマス、是ハ序デゴザイマスカラ申上ゲマスガ、吾々官僚ガ獨斷デ實ハサウ考ヘタ譯デハナイノデアリマシテ、當業者ノ意見モ徴シマシテ、極メテ是ハ有意義ナコトデアアル、是ハ尤ダト云フコトガ當業者ノ間ニ於テモ實ハ言ハレテ居ルノデアリマス、速記録ニ載ルノニ斯様ナ

コトヲ申上ゲルノハドウカト思ヒマスガ、率直ニ是ハ申上ゲマス、ソコデ先程モ助成金ノ限度トシテハドウカト云フコトデアリマスルガ、助成金以上ニ政府ガ是デ油ガ採レタカラ儲ケテヤラウト云フ考ハ毛頭ナイノデアリマスルガ、只今申上ゲタヤウニ、隣接ノ鑛區カラモ此歩油ヲ取ル、納付金ヲ負擔サセルト云フコトニシマスルト、ドウシテモソコラ限度ニスルト云フコトハ、適用上困ルノデアリマスカラ、隨テ是ハ運用トシマシテハ先程申上ゲテ居リマスヤウニ、此率ヲ少ナク決メルコトニ依リマシテ、只今仰シヤルヤウニ政府ガ出シタ金ヨリモ餘計取ルト云フヤウナコトノナイヤウニ、率ヲ決メルノダ、斯ウ云フ趣旨デ居ルノデアリマス

○松木委員 ソコガ一寸私共ニハ分ラナイ、今ノ御説明ヲ聽キマス、難カシイ問題ニナリマスガ、例ヘバ或ル鑛區ヲ掘ッたら、ソレガ採油スルニ至ラ、所ガ只今經濟的ニ、採算ノ取レルヤウニナル狀況ニ依ッテト云フヤウナ意味デアリマスガ、此法文ハ必シモサウハ見エナイシ、油ガ出テモ必シモ絶エズ利益ガアルトハ言ヘナイ、サウスルト利益ナシト雖モ、ヤハリ拂ハナケレバナラスト云フ結果ニモナルヤウデス、ソレ

ハドウナリマスカ

○竹内政府委員 實ハ此三條ノ規定ニ付キマシテハ、相當吾々モ苦心ヲシテ拵ヘタノデアリマスガ、只今御話ノアリマシタヤウニ、唯油ガ出タト云フダケデ納付金ヲサセルト云フコトハ、是ハ實際ニモ適シテ居リマセヌシ、又吾々ノ狙ッテ居ル所デモナイノデアリマス、ソレデ此條文ニアリマス通リ、サウ云フ納付金ヲ課シテモ大シタ負擔ニナラナイト云フ限度ニ於テ之ヲ適用シマス爲ニ、納付金ヲセシムルコトヲ得ト云フ風ニ彈性性ヲ持タシテアルノハ、全クソレガ爲デアリマス、只今御尋ノヤウナ場合ノ起ラナイヤウニスル積リデゴザイマス

○松木委員 モウ一點一寸伺ッテ置キタイノデアリマス、第十條ノ第二項ニ「業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得」ト書イデアリマス、此處分ト云フコトハ極メテ重大ナ意味ガ含まレテ居ルヤウニモ考ヘサセラレルノデアリマス、一體處分ト云フコトハドウ云フ範圍ノモノヲ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ、御説明ガ出來レバ伺ッテ置キタイノデアリマス

○竹内政府委員 第十條ノヤウナ規定ハ、ソレハ實ハ此法案ダケデナク、他ノ法律ニ

モ殆ど此儘ノ言葉ガ用ヒラレテ居ルノデア
リマスガ、此場合ニ即シテ處分ノ一例トシ
テ申上ゲマスナラバ、井戸ヲ試掘シテ居リ
マス際ニハ非常ナ細心ノ注意ガ必要ナノデ
アリマシテ、刻々ニ掘下ゲテ行キマス其間
ノ經過ヲ詳細ニ記録ニ留メテ置クト云フヤ
ウナコトハ、是ハ技術上必要トサレテ居ル
ノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ、例
ヘバ斯ウ／＼云フ内容ヲ持ツタ業務日誌ヲ
拵ヘテ置クト云フヤウナコトハ、是ハ業者
トシテ當然爲スベキ事デアリマスケレドモ、
法律ハ御承知ノ通りニサウ云フヤウナ場合
マデ豫想シマシテ、萬一ニモヤラス時ニハ
サウ云フコトヲ命ズルノダト云フ所マデ考
ヘテ、法律ヲ拵ヘルコトニナツテ居リマス
ノ、此十條ガ置イテアリマスガ、具體的ニ
處分ノ一例ヲ申上ゲマスレバ、サウ云フヤ
ウナコトガアルノデアリマス

○森田委員長 次ニ山田君……

○山田(順)委員 先日來栗山、板谷兩委員
ノ質問ニ依リマシテ、法律上ノ解釋ニ對シマ
シテハ、政府ノ説明ニ依リマシテ大體吾々
諒承致シマシタガ、私ハ此間ニ於キマシテ、
先程海軍ノ政府委員ヨリ目下ノ場合ニ於キ
マシテハ、長期抗戰ニ處シテ居ッテモ、燃
料、石油竝ニ揮發油ノ需給ニ對スル心配ハ

一向ナイ、斯様ニ板谷サンノ質問ニ對シテ
言明サレテ居リマス、ソコデ私共ハ昭和十
八年マデニ人造石油百万疋精製ノ計畫ニ向
ハレ、又資源ノ開發ニ向ッテモ相當ニ努力サ
レテ居ルコトハ勿論之ヲ認メマス、併シ只
今ノ質疑應答ニ依ッテ見マスルト、板谷サン
ノ意見ト私達ノ意見トハ同様デゴザイマシ
テ、將來ニハ考ヘナクテハナラヌ點ガ多々
アルノデハナイカト斯ウ考ヘル、ソコデ現
下ノ問題ニ付キマシテ、若シ海軍當局ノ言
明サレル如ク、決シテ心配ガナイ、若シ斯
様ニ確信ガアルナラバ、私ハ來ルベキ五月
一日ヨリ揮發油ノ消費者ニ向ッテ、是ガ或業
ニ依ッテハ二割ヲ強制的ニ節約ラスル、又或
ル業者ニ依ッテハ三割ヲ強制的ニ節約ラスル、
或者ニ依ッテハ四割ヲ強制的ニ節約ラスル
ト云フヤウニ、折角政府ガ法策ヲ立テ、正
ニ五月一日カラ實施シヨウ、斯ウナツテ居リ
マスガ、私共ハ少クトモ斯様ナ割合ヲ以テ
消費節約ヲ強要スルト云フ方針ヲ立テタ半
面カラ解釋スルト、ドウモ只今海軍ノ政府
委員ノ言ハレタ如ク、目下ノ場合別ニ不安
ハナイ、其點ニ對シテ多少ノ疑懼ヲ懷カザ
ルヲ得ナイ、此點ニ對シテ一ツモウ少シハッ
キリシタ御答辯ヲ願ヒタイ

○岸田政府委員 御質問ノ御趣旨ノ在ル所

ハ、能ク諒承致シマシタ、勿論揮發油ノ消費節
約ト云フコトニ對シマシテハ、是ガ交通ニ
關係シ、或ハ其他ノ工業方面ニモ關係スル
コトデアリマスカラシテ、潤澤ニ是ガ使用
出來ルヤウニ、出來得ル限り之ヲ助成シテ
行キタイト云フコトハ、是ハ商工省或ハ海
軍省ニ於キマシテモ、其氣持ハ同ジデアリ
マスケレドモ、今日ノ情勢ニ於テ油ガ不安
ガナイ、又將來長期應戰ニ對シテモ先刻申
上ゲマシタ通り、油ノ貯藏或ハ人造石油ノ
製造事業ノ擴張或ハ天然資源ノ内外ニ互ッテ
ノ開發ト云フヤウナ諸政策ヲ併セ行ッテ、サ
ウシテ以テ現在及ビ將來ニ互ッテ不安ハナイ
ト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、併シ
ソレニハ一面消費節約ヲ致シマシテ、之ニ
依ッテ民間ノ經濟ニ甚大ナル影響ヲ及ボサナ
イヤウニト云フコトダケハ十分頭ニ置イテ、
或ル程度ノ節約ト云フコトハ、是ハ今日
ノ時局ト致シマシテ萬已ムヲ得ヌコトデア
ルト考ヘマシテ、御話ノ通り二割、三割或
ハソレ以上ノ節約モ期待シテ居ルノデアリ
マス、近イ例ヲ申シマシテモ御承知ノ通り
圓「タク」ナドニ於キマシテモ、其營業ノ性質
上、又其ヤリ方如何ニ依リマシテハ、節約
ノ餘地モアルト云フコトハ、是ハ何人モ考
ヘテ居ル點デ、是ハ先ヅ一例デアリマスガ、

出來得ル限り節約ヲシテ、之ニ依ッテ民間ニ
壓迫ヲ加ヘナイ、經濟ニ打撃ヲ與ヘナイト
云フコトノ目安ダケ立ツタ範圍ニ於キマシ
テ、此消費ノ或ル程度ノ節約ヲ求メルト云
フコトモ、現在及ビ將來ニ互ッテ十分ノ用意
ヲ以テ掛ルト云フ上ニ於キマシテハ、已ム
ヲ得ヌコトカト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 只今ノ御答辯ハ或ル一點
ハ諒承致シマシタケレドモ、サウ致シマス
ルト、只今政府委員ノ説明ニ依リマスレバ、
是ダケノ消費節約ヲ強要致シマシテモ、産
業ノ上ニハサシタル影響ヲ及ボサナイ、ソ
レヲ基調トシテ所謂消費節約ノ計畫ヲ立テ
タト云フヤウナ意味合ニ伺ハレマス、御承
知ノ通り昨年來例ヘバ自動車ノ運輸業者ハ
消費ヲ自發的ニ節約シヨウト云フノデ、既
ニ昨年中ニ一割程度ノ消費節約ヲオ互ガヤ
テ居ル、御互ガヤツテ居ルト云フコトハ、政
府カラサウ云フコトヲ言ハレナクトモ、又
他ノ方面カラ、サウ云フコトヲ言ハナクト
モ、或ハ商工省ノ方カラサウ云フ指導ヲシ
ナクトモ、所謂業者ソレ自體ガモウ立ッテ行
ケナイ、要スルニ經濟的ニヤッテ行ケナイト
云フ此苦シイ立場カラ、自然ニ消費節約ヲ
シナケレバナラナイ、例ヘバ機械ノ上ニ於
キマシテモ、ドウシテモ消費節約ヲシナク

テハナライカト云フノデ、機械ノ操作ノ上ニ於テ、モウ有ユル點ニ於テ消費節約ヲ自發的ニヤツテ居ル、ソレヲ今度又來ルベキ五月カラ二割三割四割ヲ強要スルト云フコトニナルト——小クトモ消費節約ト云フモノハ自發的ニモウ絶對的ノ所マデ行ッテ居ル、今度又三割四割ヲ強要スルト云フコトニナリマスレバ、是ハ少クトモ産業ノ上ニ相當ノ影響ヲ及ボスデアラウト私ハ考ヘテ居ル、此點カラ考ヘマス、政府ハ相當長イ間研究調査致シタ結果ト申シマスルケレドモ、私ハサウ云フ風ニハ考ヘナイ、政府ノ調査研究ト云フモノハ、何等出來テ居ナイ、ソレハ現ニ調査研究シテ居ル、所謂最近二週間位研究シテ、其案ニ依ッテ一ツノ數量ヲ斯ウ云フ風ニ取ッテ行カウ、是ガ各府縣ニ對シテ政府當局カラ指令ガ參リマシテ、全國ノ業者ニ向ッテ此消費節約ニ對スル所ノ「スタンダード」ヲ出ス、サウシテ其一ツノ「カード」ニ依リ、各車ニ依ル所ノ消費節約ノ一ツノ「テスト」ヲ作ッテ、ソレニ依ッテ政府デハ斯ウ云フ風ニヤルンダト云フコトニ相成ッテ居ルヤウニ私達ハ聞イテ居ル、サウ云フ關係カラ考ヘテ見マス、政府ノ今回ノ消費節約ト云フモノハ、決シテ今日ノ長期應戰ニ對シテ安全デアル、此燃料ニ對シマシ

テハ決シテ不安ハナイ、斯ウ云フ風ニ言ハレテモ、斯ク無理ナコトヲスルト云フ點カラ想像シマス、少シク私達ハ疑懼ノ念ヲ懷カザルヲ得ヌ、若シサウ云フヤウナ關係デナク、消費節約ヲスルト云フナラバ——或ハ國際收支ノ決濟ヲ圓滑ニスル目的デ、ドウシテモ一年間ニ一億「ガロン」ヲ大體消費節約スルンダ、是ナラバ如何ニモ説明ノ趣旨ガ徹底シテ居ル、ケレドモサウ云フヤウナコトデハナク、唯産業ノ上ニハ大シテ影響ヲ及ボサナイノダ、ソレデ漫然トシテ消費節約ヲスルンダ、是デハ國民ハ納得シハシマセヌ、産業ノ上ニ非常ニ影響ヲ及ボシマス、此點ヲハッキリサセル爲ニ、是ハ全國ニ於キマシテ、若シ五月一日カラ實施スルト云フ場合ニ於テ——兎角政府ノ方々ハ成ベク祕密ヲ守ルト云フヤウナ合デ、聞カントスレバ口ヲ掩ヒ、眼ヲ閉ヅルト云フヤウナ調子デハ、ソレハドウモ工合ガ好クナイト思フ、ヤハリ率直ニ斯ウ云フ考ダト云フコトヲ軍ノ機密ニ關係ナイ範圍内ニ於テハ、國民ニ能クハッキリ言ッテ戴キタイ、聽カセテ戴キタイ、斯様ナ意味ニ於キマシテ私ハ政府委員ニモウ少シ目的ヲハッキリサシテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

アリマスルガ、私カラ御答ヲ申上ゲマス、今回石油ノ消費節約ヲ致シマスル爲ニ、從來ノ民間業者ノ自覺ニ懸ヘテ、自發的ニ節約スルト云フ方法ニ一段強化ヲ圖リマシテ趣旨ハ、一面ニ於キマシテ是ガ直接ノ軍需品デアリマシテ、軍ノ補給ニ事缺カナイヤウニシタイト云フコト、モウ一ツニハ國際收支ノ適合ニ資シタイ、實ハ此二ツノハハッキリシタ目的ヲ持ッテ居ルデアリマス、産業上或ハ社會生活上カラ申シマシテ、從來十分ニ使ヒ得タ所ノ油ガ、其數量ガ假ニ幾ラデアリマセウトモ、ソレダケ社會生活ニモ不自由ヲ與ヘ、又此適用如何ニ依リマシテハ産業上ノ影響モ考慮シナケレバナラナイ、又經營ノ上ニ於キマシテモ、或ル程度ノ困難ノ伴フヤウナコトモ、是ハ豫想シナケレバナラヌコトデアリ、慮ラナケレバナラヌノデアリマス、節約ノ率ガ高イ方面ニ於キマシテハ、特ニ此感ヲ實ハ深クスルノデアリマス、此問題ニ付キマシテ最近急ニ色々調査ヲ始メタノデハナライカト云フコトデゴザイマスガ、實ハ是ハ昨年事件ガ勃發致シマシテカラ、直チニ八月頃カラ調査モシ、又民間業者ノ意見モ徴シ、ソレムシ此問題ニ付テハ苦心ヲ致シマシテ、目的ガ只今申上ゲマシヤウナ所ニアリマスノデ、

ドウシテモ之ヲヤラナケレバナラヌノデアリガ、其影響ヲ最小限度ニスルノニハドウシタラ宜イカ、配給ヲ圓滑ニシ、同時ニ公正ニスルト云フ爲ニハ、切符制度ノ採用ハ已ムヲ得ナイト云フ結論ニ實ハ達シタ次第デアリマス、只今御質問ノ中ニアリマス問題ハモウ少シ早く發表スルナリ何ナリシテ、能ク民間トノ連絡ヲ取ッテヤルベキデハナカッタカ、是モ非常ニ實ハ御尤ナ點デアリマシテ、私共ト致シマシテハ是ハ非常ニ痛い點ナノデアリマス

〔速記中止〕

○山田(順)委員 能ク了承致シマシタ、ソコデ若シ五月一日カラアレヲ實行致シマシテ現在ノ情勢デ行キマスレバ、今後アノ消費節約ニ對シマシテ、各業種別ニ依ッテ消費節約ノ増量ヲスルト云フ考ヲ持ッテ居リマスルカドウカ、現在ノ情勢カラ言ッテ、アレヲ實行シテ後ニドウ云フ風ナ考ヲ持ッテ居ラレマスルカ、アノ儘デ將來ズツト行ッテモ現在ノ情勢デハ一向差支ナイカ、其點ヲ一點御伺致シマス

○竹内政府委員 此點ハ今後ノ今回ノ事變ノ推移、其他國際情勢ノ變化ニ繫ルノデハナライカト思フノデアリマス、併シソレ等ノ事情ガ今後非常ニ變化ガアリマセヌ限り、

今日企圖シテ居リマスル節約率以上ニ更ニ之ヲ強化スルヤウナ必要ハナイモノ、又今日ハソレヲシナイト云フ考デ居リマス

○山田(順)委員 ソコデ商工省ノ政府委員ニ御聴キ申シタイコトハ、一體私共ハ商工省ノシテ居ルコトニ付テ非常ニ矛盾ガアルヤウニ信ジテ居ルノデアリマス、ソレハ御承知ノ通りアノ石油業法ヲ實施致シマシタ其原因、要スルニ實施シタ其根本ノ商工省ノ

肚ハ、恐ラク軍部ノ諸君ト或ル程度ノ協議ノ結果、石油業法ヲ實施シタモノト承知致シテ居リマス、サウ致シマスレバ何ガ故ニ石油業法ヲ實施致シマシテ、將來國策ニ備ヘル爲ニ、嚴然トシタ所ノアノ六箇月ノ貯油ト云フコトガハッキリ石油業法ノ中ニ出テ居ル、ソレナラバアノ六箇月ノ貯油義務ヲ、全體ノ會社ニ、六大會社、七大會社ニ實行サセルト云フコトニ依ッテ、少クトモ國際情勢ノ緩急ニ處スルコトガ出來ルデヤ

ナイカ、斯ウ云フ風ニ私共ハ信ジテ居ッタノデアリマスルガ、聴ク所ニ依レバアノ六箇月ノ貯油ノ義務ヲ負ハセル方針デ商工省ハヤツカモ知レヌガ、事實ノ上ニ於テハソレダケノ貯油量ガナイト云フコトヲ吾々ハ聞イテ居ル、私達ノ聞イタ所ガ或ハ間違カ知レマセヌガ、約二箇月シカ貯油量ガナイト

云フコトデアリマスガ、其點ハドウ云フ風ニ御考デスカ

○竹内政府委員 貯油ノ義務ハ御話ノ通り法令ノ規定ニ依ッテ、其義務ヲ負擔シテ居リマスルモノガ、悉ク法律ノ要求シテ居ル貯油數量ヲ保持シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、詰リソレハ外國ノ會社ガ之ヲ實行致シテ居ラナイノデアリマス、併シソレモ全然ヤツテ居ラヌノデアリマセヌノデ、大體三箇月分位、即チ法律ノ規定ノ半分ニ相當スル位ノモノハ實行致シテ居リマス、ガ是ハ大シタ問題デハナイノデアリマスガ、結局法令ノ規定ニ依ル貯油ヲシテ居ラナイト云フ事實ヲ率直ニ吾々ハ認メテ居リマス、是ハ極メテ微妙ナ關係ガゴザイマスノデ、政府ト致シマシテハ銳意業者ヲシテ此法律ニ從ハセル爲ノ努力ヲ致シテ居リマスガ、其間ノ特ニ最近ニ於ケル經過等ニ付キマシテハ、今此處デ御答ヲスルノハ少シ差控ヘタイト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 私ハ商工省トシテモ、或ハ軍トシテモ、貯油ノ義務ヲ負ハセルト云フ方策ニ出タト云フコトハ、國際關係ノ情勢ヲ相當ニ察知シテ、サウシテ斯様ナ法律ヲ御作りニナッタト存ジテ居リマスルガ、ソコデ私共ハ少クトモ最近數箇年間ニ於キマ

スル所謂「ソ」聯邦トノ關係ト云フモノガ、可ナリ急ヲ傳ヘテ居ルト云フヤウニ存ジテ居ルノデゴザイマス、吾々素人デアリマスカラ能クハ分リマセヌガ、民間ニ於キマシテサウ云フコトヲ想像シテ居リマス、商工省乃至ハ軍ガ相協力シテ、國際情勢ノ將來ヲ大體見計ッテ、所謂見透シヲ付ケテ、貯油ト云フコトニ對シテ政府ハ今日ノ日本ノ石油資源ノ情勢ヲ考ヘテ常ニ用意シテ置カ

ナケレバナラス、ドウモ政府ノヤリ方ガ泥棒ヲ見テ繩ヲ綱フト云フヤウナヤリ方デハ、少クトモ私達ハ將來ノコトヲ考ヘマスト甚ダ不安心デアリマス、此點ハ吾々素人トシテ考ヘルノニ、ナゼモットノヨリ多ク石油デモ、揮發油デモ澤山ニ貯油シテ居ラナカッタ、今日兎モ角三割ノ節約ヲサシテ、サウシテ是ハ産業ノ上ニ非常ニ影響ヲ及ボシマス、先程海軍ノ當局者ガ御答辯ニナリマシタガ、サシタル影響ハナイト言ハレマシタケレドモ、私ハサシタル影響ドコロデハナイ、大シタ影響ガアルト信

ジテ居リマス、サウ云フヤウナ場合ニ於テ、少クトモ銃後ノ護ノ完璧ヲ期スルト云フ上ニ於テ、所謂産業ノ上ニ萎微衰退ヲ來シ、サウシテ交通上ニ非常ナル影響ヲ來シ、交通業者ハ最近ノ經濟界ノ情勢ニ依ッテ塗炭ノ

苦シミヲシテ居ル、サウ云フ點カラ併セテ考ヘテ見マス、是ハ相當ニ考ヘサセラレ

ルコトデヤナイカト私ハ思フ、此點カラ考ヘマシテ、如何ニモ商工省竝ニ軍ガ不用意デハナイカト私ハ思ヒマスガ、其點ニ對シテドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○竹内政府委員 石油資源ノ缺乏シテ居リマスル我國ニ於キマシテハ、特ニ有事ノ際ニ備ヘルガ爲ニ普段カラ適當ナ施設ヲ講ジテ居ラナケレバナラヌデヤナイカト云フ御趣旨ハ御尤ト存ジマス、政府ニ於キマシテモ、從來カラ石油業法ノ施行、海外資源ノ獲得、或ハ國內油田ノ開發、代用燃料ノ獎勵ト云フヤウナ方面ニ實ハ銳意努力ヲシテ今日ニ至ッテ居ルノデアリマスルガ、唯實際ノ問題ト致シマシテ、今日ノヤウナ事變ニナリマス、先程申上ゲマシタヤウナ二ツノ目的ニ合致スル爲ニ、消費ノ節約ト云フコトヲ相當程度ニヤラナケレバナラヌ事態ニ立至リマスコトモ是亦已ムヲ得ヌコトデヤ

ナイカ、斯様ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、私ノ言葉ガ或ハ先程足リナカッタ點ガアツカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ時局デアリマスノデ、石油ニ關シテ軍需ノ補給ニ事ヲ缺カサナイヤウニスルト云フコトニ於キマシテハ、物ガ石油デアリマスダケニ相當

國民ノ理解ヲ得ルコトガ出來ルヤウニ實ハ私共觀測致シテ居ルノデアリマス、業態ニ依リマシテハ非常ニ困難ナ向モアラウト思ヒマスガ、サウ云フ團體ノ組合ノ幹部ノ方々等トノ意見ノ交換ニ依リマシテ吾々ガ觀取シ得マシタコトハ、吾々ハ燃料問題ニ付テ此際公ニ奉ズルノダ、報國ノ誠ヲ效スノダト云フ氣持デアリマス、ソレダカラト云ウテ無論必要以上ノ節約ヲ強ヒル譯デハアリマセヌガ、石油ノ問題ニ付キマシテハ、先程御話ガアリマシタヤウニ、今日マデ業者ニ於テモ、國ニ於キマシテモ、自發的ニ節約サレテ來テ居ツタ事實ヲ承知シテ居リマス、今後モ其心組節約ノ實ヲ舉ゲテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○森田委員長 山田君、モウ時間デスカラ次ノ機會ニ願ヒタイと思ヒマス、山田清君、何カ海軍ヘ……簡單デスカ

○山田(清)委員 一寸海軍ノコトニ付テ、山田順策君ノ問題ニ關聯シテ聞キタイノデス

○森田委員長 簡單ニ願ヒマス

○山田(清)委員 先程山田順策君ノ質問ニ對シテ竹内サンノ答辯ハ吾々能ク了解致シテ居リマスガ、岸田海軍政府委員ノ答辯ハ、此節約ニ對シテ産業、運輸方面ノ消費者ニ

ハ大シタ影響ノナイヤウニ、而モ海軍トシテハ現在ニ於テ、將來ニ於テ心配ノナイタツプリシタ貯油ヲ持ッテ居ルスウ云フコトデアリマス、併シサウナリマススト吾々百万業者ハ斷ジテ満足出來ナイ、ト云フノハ、全國ノ運輸業者、山田順策君ノ御話ノヤウニ自發的ニ政府ノ國策ニ順ジテ國防第一主義デ考ヘテ今日マデ進ンデ來タ、更ニ今後ニ於テ二割三割ト云フ問題ニ於テモ國策第一主義デ、犠牲ニナケレバナラスト云フ積リデ考ヘテ參ッテ、命マデモ差上ゲヨウト云フ積リデ居ルノダガ、併シ軍ノ見解ガ大シタ影響ハナイノダト云フヤウナ考ヘ方デアルト云フト、斷ジテ吾々ハ承服出來ナイ、ソレデハ様ノ下ノ力持チデアリ犬死デアルカラ、サウ云フコトデアルナラバ、吾々ハ考ヘ直シテ今後此審議ヲ進メナクテハナラスト思フノデアリマスガ、或ハ私ノ聽達ヒ、或ハ聽キ方ガ下手デアツカモ分ラヌ、アナタノ言廻シモ下手ダツカモ分リマセヌガ、其點政府委員カラモウ一遍ハッキリシタ答辯ラシテ貰ハナイト僕等ハ困ル

○岸田政府委員 此點ニ付キマシテ先程私ノ御答シタ内容ニ於テ、言葉ガ及バナカツタ點ガアツカモ知レマセヌデ、爲ニ誤解ヲ生ジタトモ存ジマスルガ、海軍ノ意ノ在リマ

スル所ハ先程モ申シマシタ通り、何分ニモ油ト云フコトハ、産業交通ノ方面ニ重大ナ影響ノアル大切ナ物資デアリマスカラ、此點ニ付テハ出來得ル限り産業交通界ニ打撃ヲ與ヘナイ、壓迫ヲ與ヘナイト云フコトヲ十分ニ頭ニ置イテ善處シタイト云フ氣持ハ持ッテ居リマスガ、何分ニモ現在及ビ將來ヲ通覽シテ考ヘマスルト國防ノ見地カラモ、萬遺憾ナキヲ期セネバナラヌ次第デアリマシテ、此點ニ於テ民間ニ於テモ、消費節約ト云フコトニ付テ此上ノ努力ヲ願ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ私ノ信念デアリマス、申ス迄モナク第一ニハ油ノ消費ト云フコトハ、國際收支ノ關係ニ於テ、更ニ爲替關係ニ於テ、戰爭ノ基本力タル經濟ノ上ニ影響ガアルノデアリマスシ、第二ニハ直接ニ戰爭ノ必需品デアル燃料カラ申シマシテモ、此兩觀點カラ致シマシテ、業者ノ方ニハ甚ダ御氣ノ毒ナ點ガアルト云フコトモ十分察シテハ居ルノデアリマスルガ、此點ニ付テ此時局ニ當ッテノ報公ノ意味ニ於テ、御犧牲ヲ御忍ビ願フ外ハナイト、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、左様御諒承願ヒマス

○山田(清)委員 諒承致シマシタ

○森田委員長 此際御諮リ致スコトガアリ

マス、理事ノ瀧澤七郎君ガ辭任セラレマシタ、理事ノ補關選舉ヲシナケレバナリマセヌ、先例ニ依リマシテ委員長カラ指名致シテ宜シウアリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○森田委員長 ソレデハ高島龜太郎君ニ御願致シマス、本日ハ午後ハ本會議ニ重要議案ガ上程サレルサウデアリマスカラ、明日午前十時ヨリ委員會ヲ開クコトニシ、是デ散會致シマス

午後零時三十五分散會